

2024年度 医療安全報告（2024年4月1日 ～ 2025年3月31日）

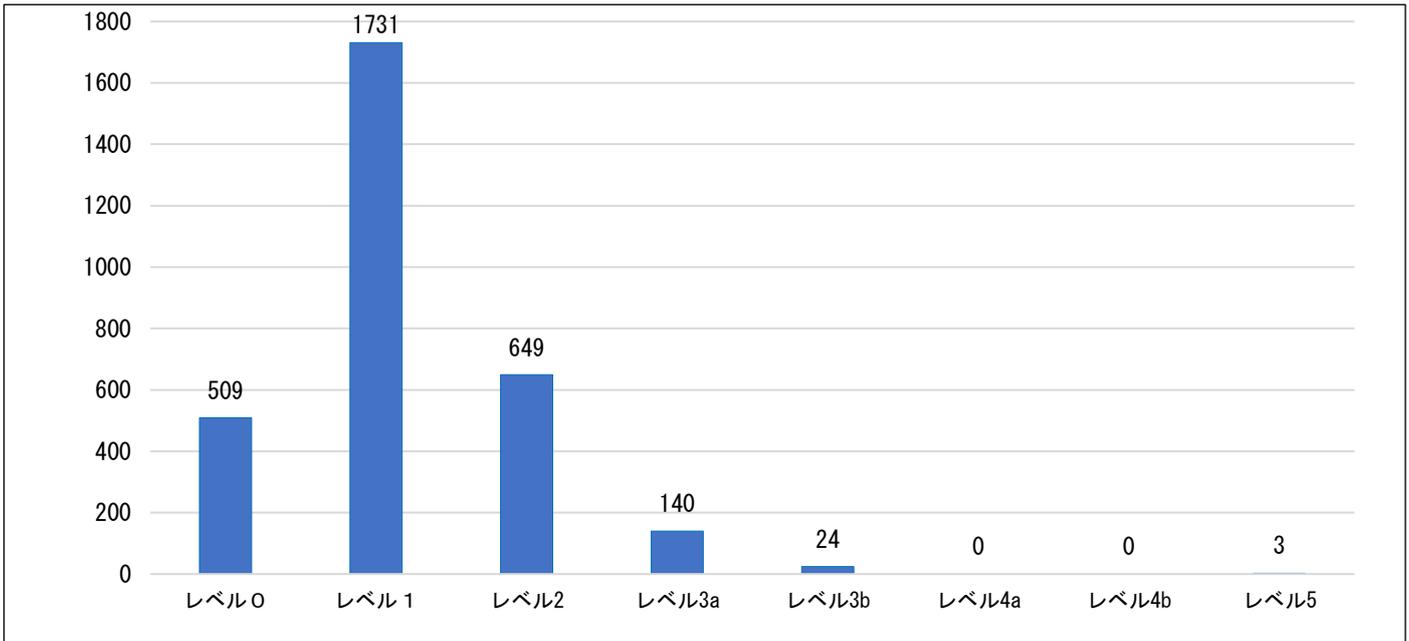
医療事故報告件数：3056件（昨年度：2822件）

・インシデント 3029件（昨年度2787件） ・アクシデント 27件（昨年度35件）

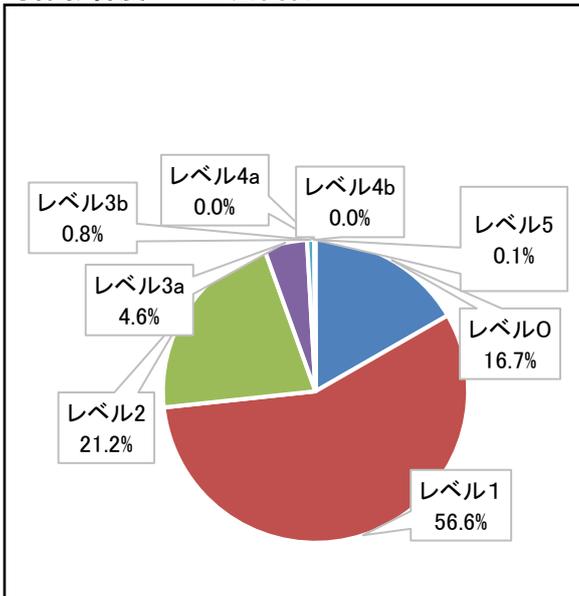
医療事故報告は、病床数の5倍以上の報告が望ましいといわれ、当院は1845件（153件/月）が目安となる。2024年度の医療事故報告件数は3029件であった。病床数369床の約8倍であり、望ましい報告数を上回った。また、昨年度に比べ報告数は234件増加した。

1. 報告書件数：3056件

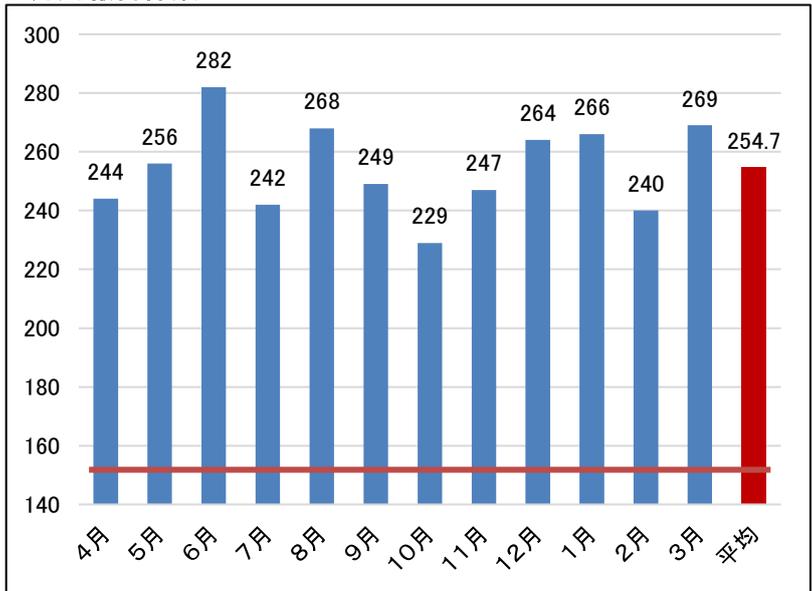
身体影響度レベル別報告件数



身体影響度レベル別割合



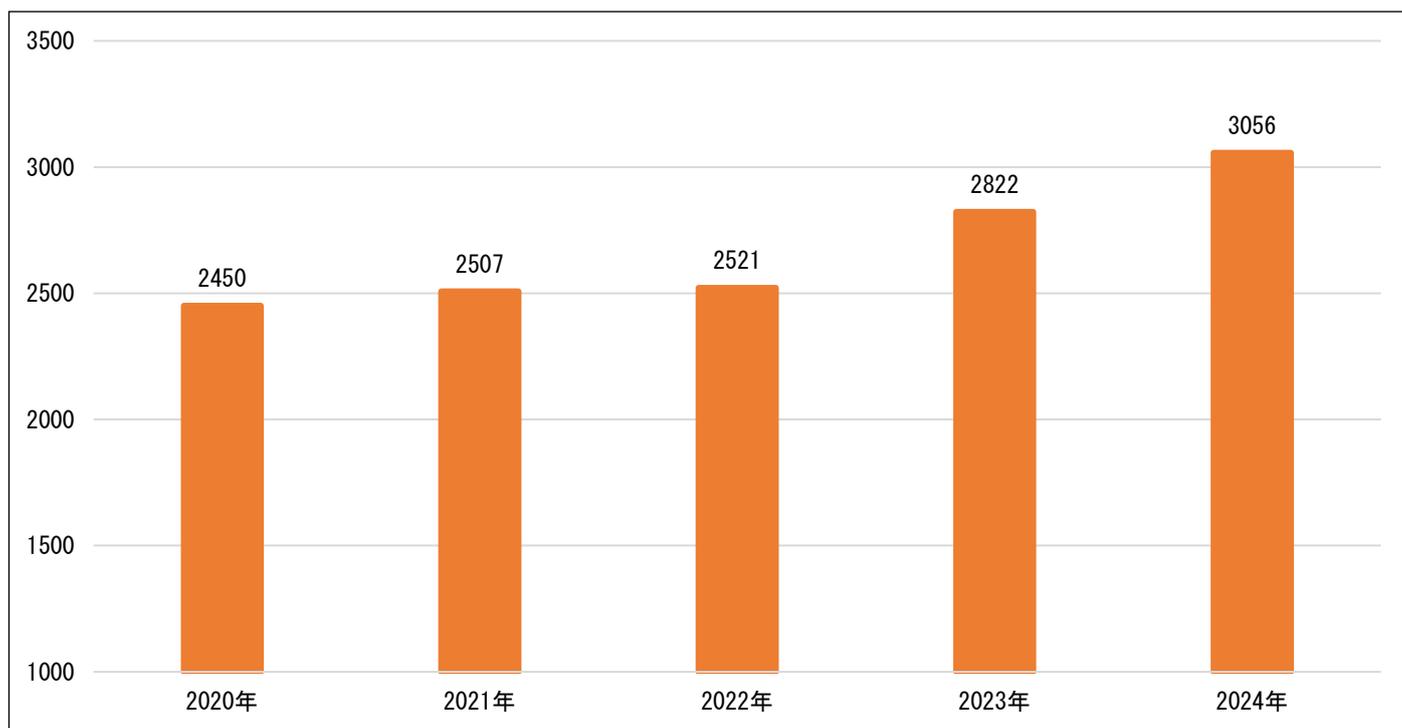
月別報告件数



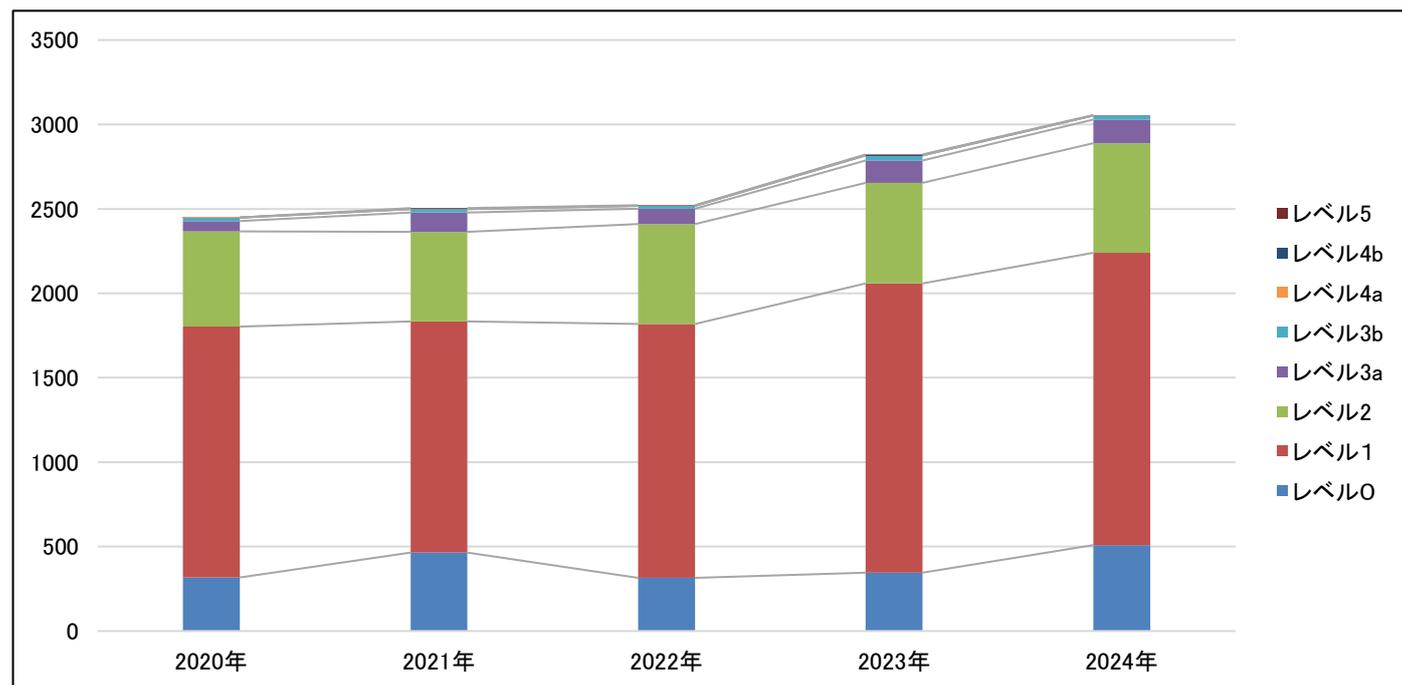
身体影響度レベル別報告は、レベル0報告数が、昨年度より164件（4.7%）増加した。2024年度は、レベル0報告を提出しやすいように書式を変更した。これにより、提出数の増加につながったと考える。

身体影響度レベル3b以上は、27件（0.9%）であり、昨年度より8件（0.3%）減少した。

2. 報告件数：年度別推移



身体影響度レベル別件数

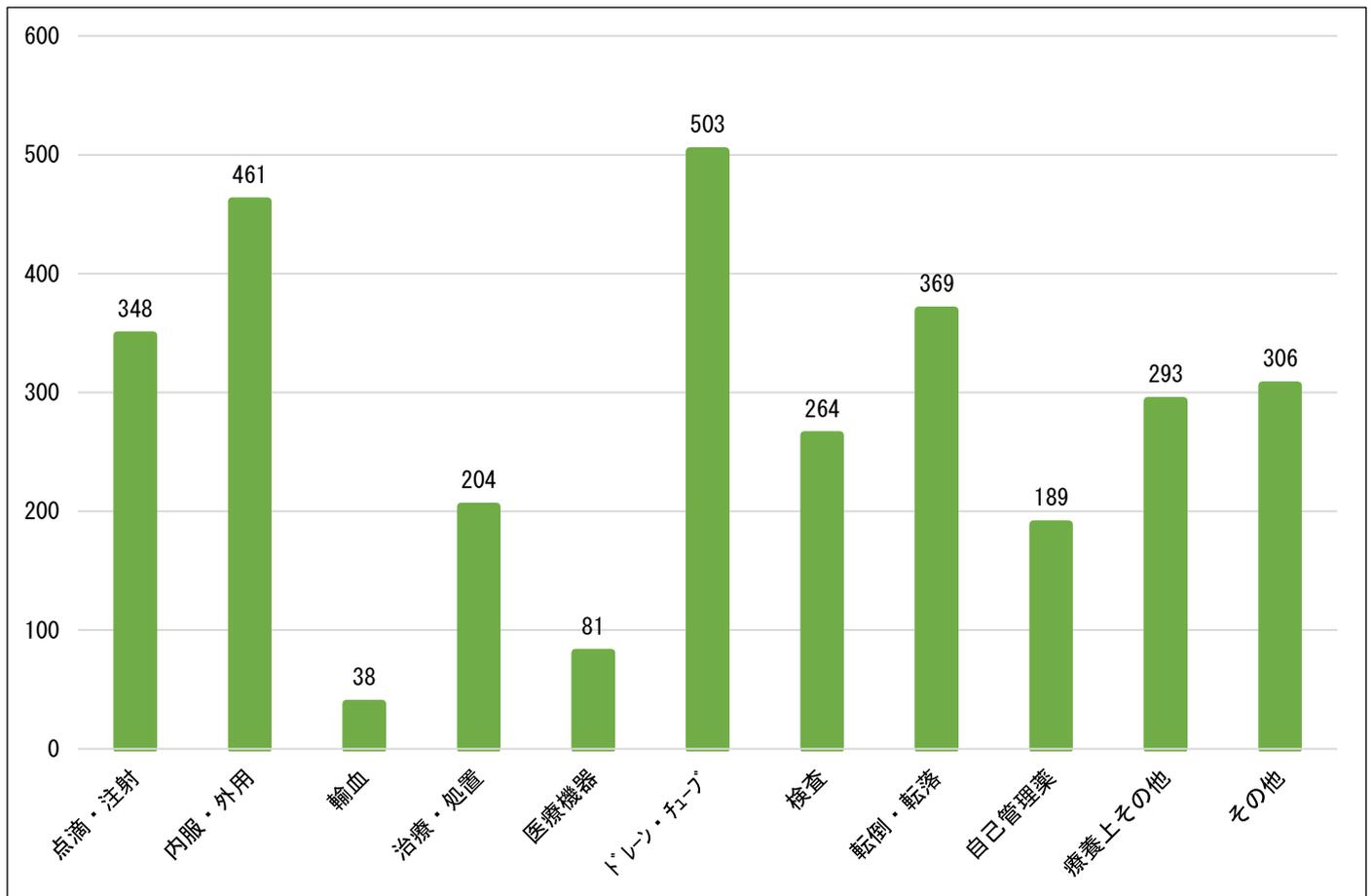


報告件数は、徐々に増加し、2024年度は最も多い提出数となった。

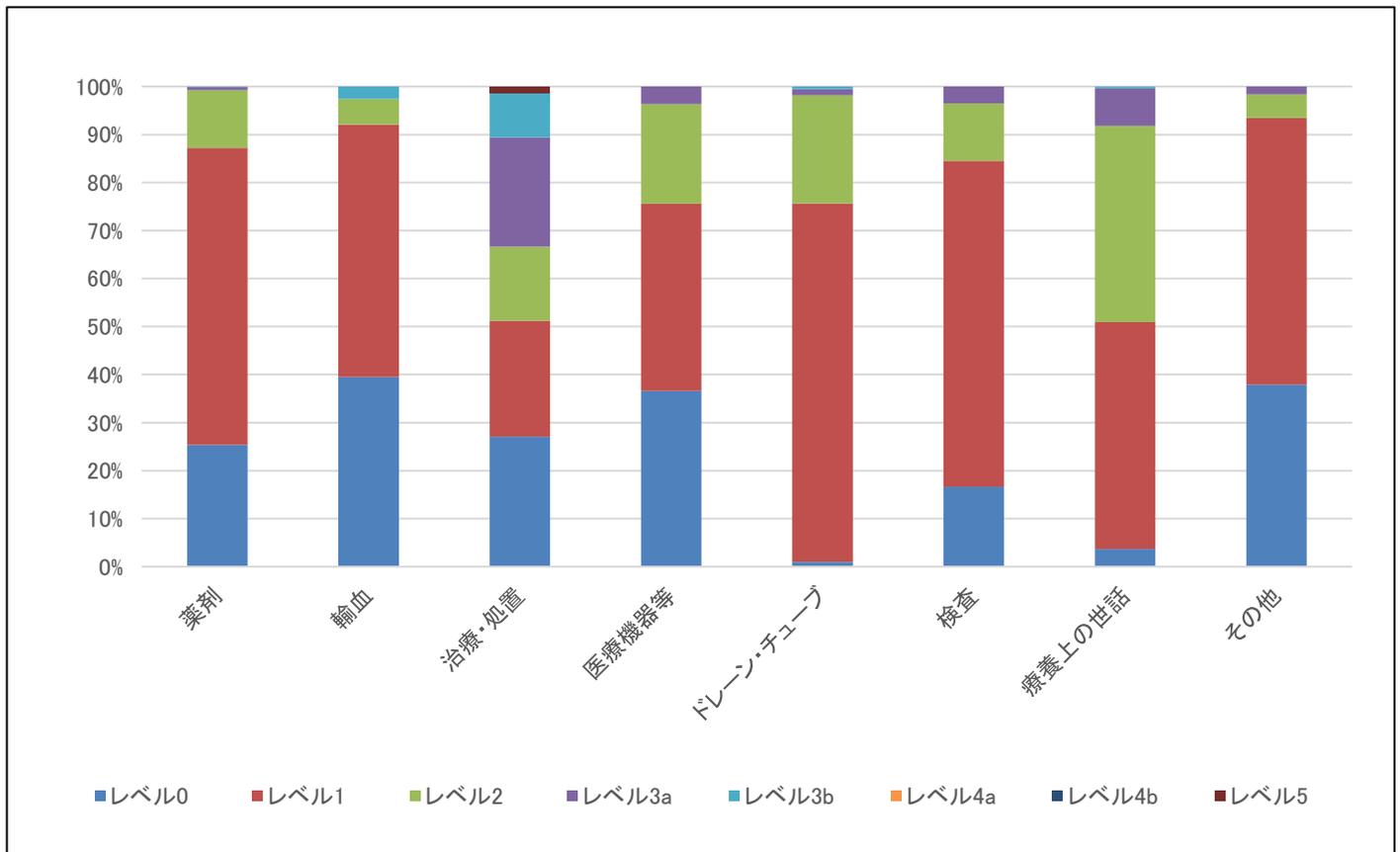
影響度レベル別推移は、レベル0報告が増加し、レベル3b以上の割合が減少した。

報告する文化の醸成が推進され、重大な事故につながる前の気づきが増え、未然防止につなげることができた。

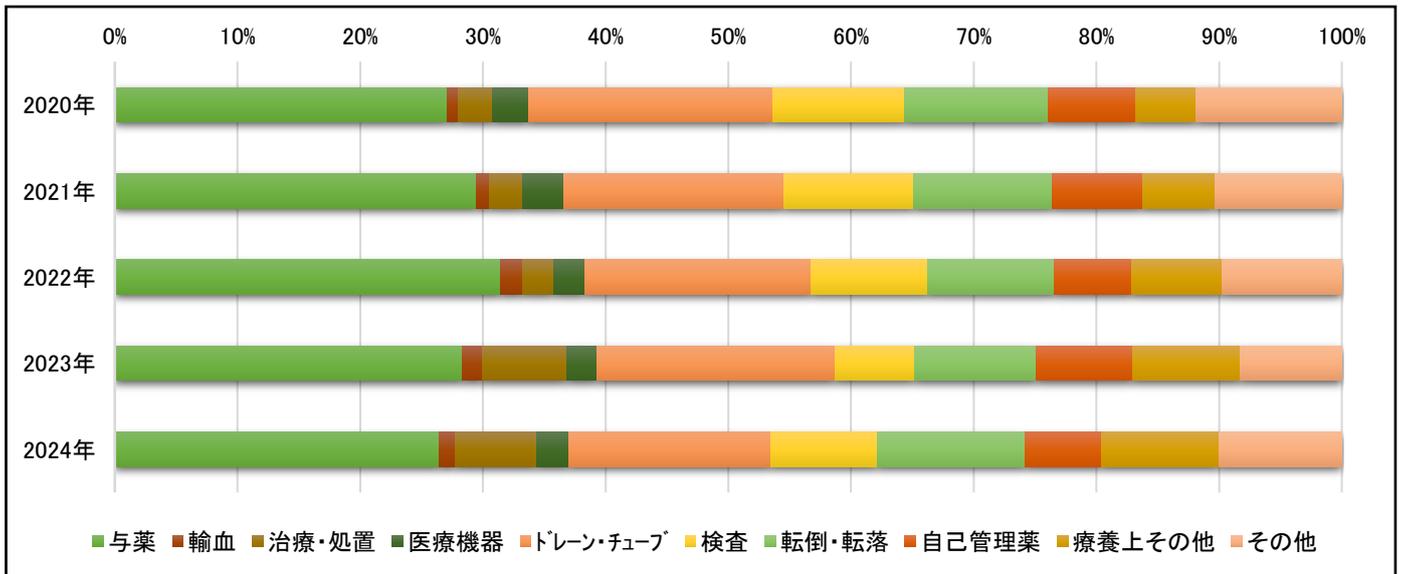
3. 報告内容別



報告内容別：身体影響度レベル割合

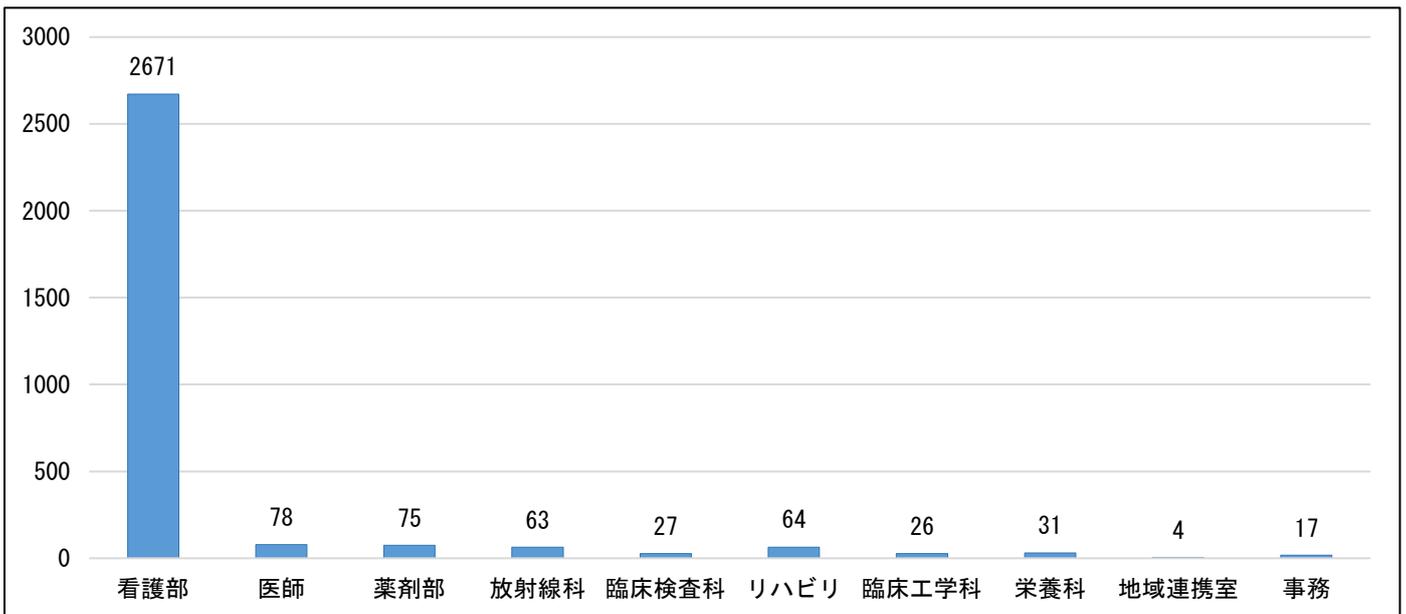


報告内容別：年度別推移

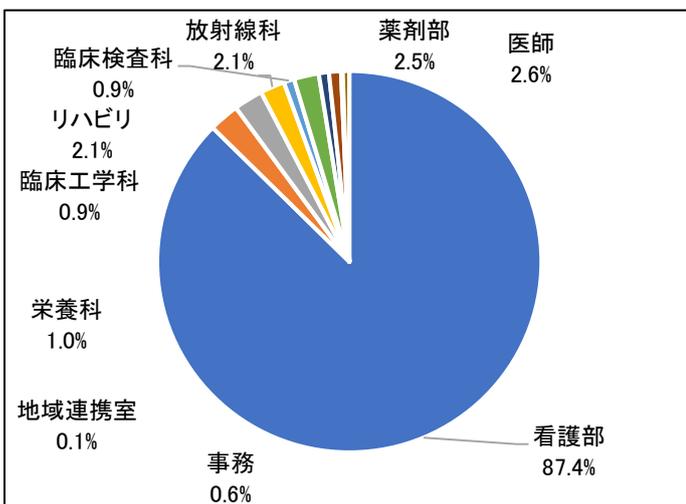


報告内容別は、昨年同様「薬剤」に関する報告数が多く、過去10年間でも同じ傾向にある。再発防止に向け、多職種で検討・予防策を実施できる体制を構築することが継続した課題である。

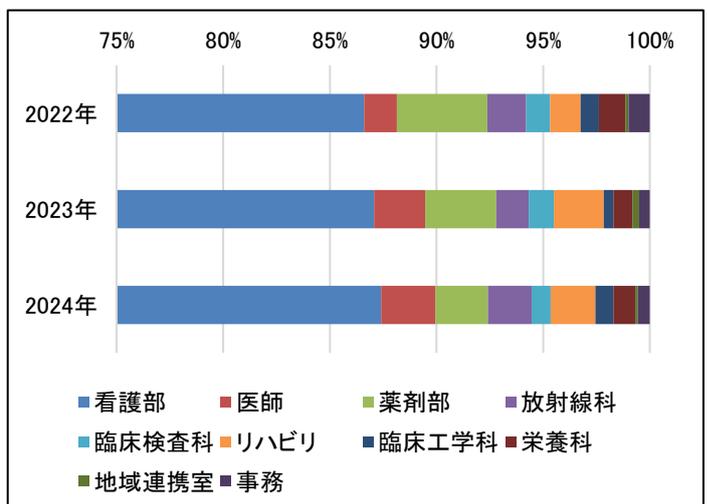
3. 報告者別件数



報告者別割合



報告者別割合推移



報告者別割合は、大きな変化はなかった。

医師の報告数は、昨年度の2.4%から2.6%に増加した。また、過去5年間で最も多い報告数となった。

医療安全文化の醸成を図るうえで、医師の報告は重要である。報告する文化を推進するため、取り組みを継続していく。また、合併症についても積極的に報告できるように、システムを構築することが課題である。